

第49回 口腔機能って何だろう？

＝「認知症の方」の食事「困りごと」と対処法について＝

(その24)

北九州在宅医療・介護塾
塾長 久保 哲郎

4年間にわたって掲載させて頂きました「口腔機能って何だろう？」も、次回の第50回をもって一先ず終了することにしました。そのため、今回と次回は、認知症患者の方への対応について紹介させて頂きませ

●認知機能が低下すると、セルフケアも低下するため、患者自身で口腔内を清潔にしたり、歯科治療に協力することが困難となります。

そして、認知機能と口腔機能は密接な関係があるため、認知症患者の口腔機能を適正に評価し、必要に応じて介入しなければなりません。

そのため、看護師や介護者によって定期的な歯や口腔の観察を行うとともに、歯科医師・歯科衛生士は定期的に口腔衛生状態と口腔機能の観察を行い、疾病や障

がいの早期発見・早期治療が必要です。

●認知症患者の歯科領域の対応は、保存（詰めたり、神経を取るなどで抜歯をしない処置）・補綴処置（歯と口腔の詰め物や被せ物などの処置）などの一般的歯科治療のみでなく、認知症患者の特性を十分に考慮し、歯周病などからの口腔感染症と全身感染症などについても考慮しなければなりません。

そして、認知症患者への「口腔ケア」は、栄養や水分の摂取についても管理が求められるため、歯科医師・歯科衛生士は、主治医、看護師、介護士、管理栄養士などとの連携を緊密に図り、「口腔衛生・口腔機能」の管理を行います。

